

「あづみの国際DAY2018！」ステージ出演者プロフィール

ねん がつ にち にち 2018年11月18日(日) 10:00~15:00
あづみのしほたかこうみんかん 安曇野市穂高公民館

◆フラ・ハラウ ナプア ハウオリ◆

フラダンス



ハワイの伝統的で神聖な踊りであるフラは、ただ振り付けの通りに踊るものではなく、遥か昔の言葉がなかった時代の伝承手段として大切な役割を果たす踊りでもありました。フラダンスを楽しみながら、福祉施設への訪問活動や各種イベントで活躍中。

◆高木晴美 (たかぎ はるみ)◆

日本舞踊 (にほんぶよう)



小さい頃から踊ることや着物が好きだった。昭和49年に着付け講師を取得。日本舞踊花柳流を10年、その後松風流に入門し、平成3年に松風流師範を取得。現在、日本舞踊ボランティアとして施設や温泉街などで活動中。

◆音連詩 (おれんじ) ◆

歌(うた)とピアノの演奏(えんそう)



音が連なり・詩が連なり・みなさまの心に響きますように♪
ビタミンカラーのオレンジ色をテーマカラーに、音楽で元気と癒しをお届けします。施設やコミュニティーへの訪問活動をしています。

◆安曇野市人権男女共同参画課 (あづみのしじんけんだんじょきょうどうさんかくか) ◆



私たち安曇野市人権男女共同参画課は、市民の人権を守ることやいろいろな分野で男女が対等な立場で参画できる機会を増やすこと、そして、市内に暮らす外国人住民の方のことを理解し、共に生きていくことを目指しています。ステージ発表は、「映像による安曇野市の紹介」と「日本に関するクイズ」を行います。

◆MADOKA (まどか)◆

フュージョンベリーダンス



東京で様々な先生にベリーダンスを師事。松本に移住し、イベントやショーで踊る。ベリーダンスの起源の1つに、ロマ(ジプシー)の人たちが北インドから放浪し、様々な国で出会った踊り、音楽、文化が混じりあい、ベリーダンスの原型になったと言われています。昔のロマの人々のように、色んな音楽ダンスを取入れ、身体、魂、心と向き合って自分で行われる喜びを、音を奏でる感覚で踊る。2年前より浅間温泉周辺で教室を開催中。



ねんだい ほんば と い あずみのしざいじゅう けんないがい
70年代より本場ジャマイカのレゲエスタイルを取り入れ、安曇野市在住で県内外で
かつやく
活躍するパイオニア。

ZION HIGH RECORDS というレーベルでアルバムの せいさく はんばい て が
制作、販売も手掛ける。



きょく うたごえ なつ おぼ
ベトナムの曲のやさしいメロディーと歌声に、どこか懐かしさを覚えます。
にほん き し あ おんがくなかま く さまざま しゅつえん
日本に来て知り合った音楽仲間と、バンドを組み、様々なイベントに出演しています。
うた りょうり とく い しゅっしん
歌うことと料理が得意なベトナム出身のボーカリストです。



ひがし こてんぶよう ちらづよ だいち ふ なが うご
東インド古典舞踊オリッシー。力強く大地を踏むステップに流れるような動き、
ちょうこく ゆうが しんわ せかい おど
彫刻のような優雅なポーズ。インド神話の世界を踊ります。

ぶよう きょうしつ しゅさい
ヨーガとインド舞踊の教室「キンキニ」主催。

<https://www.facebook.com/kinkinidanceyoga/>



もとぎょうけんしゅうせい らいにち じもと さんか けっせい
元企業研修生として来日したとき、地元イベントに参加するためバンドを結成しました。
ねんかん けんしゅう お いったんきこく のち けっこん しごと さいらいにち ふたたび けっせい
3年間の研修を終え一旦帰国した後、結婚や仕事で再来日し再びバンドを結成！

かん うたごえ にほんじん みな ていひょう
そのリズム感や、歌声に日本人の皆さんからも定評をいただいています。

さまざま た
インドネシアでも、様々なステージに立っています。

しゅさい こくさいか きょうさい あづみのし
【主催：あづみの国際化ネットワーク (AIN)・共催：安曇野市】

といあわ こくさいか だいひょう まるやま
【お問合せ】あづみの国際化ネットワーク (AIN) ☎090-1869-9547 代表・丸山
あづみのしやくしよけんだんじよきょうどうさんかくか へいじつ
安曇野市役所人権男女共同参画課 ☎71-2406 (平日8:30~17:00)

後援：安曇野市教育委員会・公益財団法人長野県国際化協会 (ANPI)・市民タイムス
協賛：(株)長野技研・(株)フラワーインおおつき・(有)二木工業・里菓抄まる山・
あづみ野テレビ(株)・あづみ野エフエム放送(株)

協力：(一財)言語交流研究所ヒッポファミリークラブ・スタッフ明科代表 宮沢一雄